

## 申請書等における不要な性別欄の削除

**問** 性的マイノリティへの配慮や男女共同参画推進の観点から、市の申請書等に記載されている不要な性別欄をなくすべきと考える。見解を伺いたい。

**答** 平成28年3月に改訂した「第2次長崎市人権教育・啓発に関する基本計画」に基づく取組として、毎年度、性別記載欄の削除状況を調査しており、これまでに性別記載欄を廃止した件数は31件、残る書類は令和元年度調査時点で454件である。

法律に準じていたり、業務上、男女の統計が必要なこともあって廃止困難なものもあるが、今後、完全な廃止はできなくとも、自認する性別を記載することを可としたり、任意記入の方法も加えるなど、少しでも改善できるように積極的に働きかけを行っていく。

## 災害時のペット避難所

**問** ペットと一緒に避難ができる避難所について、本市の考え方を伺いたい。

**答** ペットを避難者と同じ居住スペースで飼育管理する同伴避難は、動物の鳴き声や臭い、動物アレルギーを持つ人への配慮などから認めていないが、ペットを避難者と別のスペースで飼育管理する同行避難は認めている。ただし、台風第10号の際は、暴風により屋

外での飼育ができないことなどから、事前の問合せに対して、受入れが困難なことをお伝えする状況であった。

今後は、平時からのペットのしつけやケージの準備などペット避難のルールを周知するとともに、屋内に飼育スペースを有し、台風時でも同行避難ができる避難所の開設を検討していく。



## 自民創生

歴史的風致維持向上計画を生かすための課題の解決

**問** 計画を生かし、実行するためには、積み残されたハード面での課題解決が必要だと考えるが見解を伺いたい。

**答** 計画で重点区域に位置づけられた東山手・南山手区域では、令和2年8月に地元主体の長崎居留地歴史まちづくり協議会を設置し、本市と地域が協働して将来像となる歴史まちづくり計画を策定する体制を整えており、来年度以降、具体的な取組を実施していく。一方で、従来からの課題があることも認識しており、今後は、重点区域周

辺のエリアを含んだ広い視点で、関係部局と綿密に連携しながら積み残された地域課題の解決にも努めていきたい。

**歴史的風致維持向上計画**：地域における固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動や建造物を守り育て、次世代へと継承していくことを目的として、自治体が策定した計画を国が認定し、支援を行うもの。  
本市では、地域固有の歴史を背景に、居留地文化や町人文化など5つのテーマとエリアを設定し、令和2年3月に国からの認定を受けている。

学習指導要領改訂に伴う教員へのサポート

**問** 学習指導要領の改訂に当たり、教員への周知や支援をどのように行っているか伺いたい。

**答** 新しい学習指導要領の趣旨に沿った授業改善を行うという視点で様々な研修を実施するとともに、年間50校程度の学校訪問の中で授業を参観し、管理職や授業を行った教職員一人ひとりに対して助言や指導を行い、サポートの充実を図っている。さらに、学力向上や道徳教育、外国語教育などの研究校を指定し、研究会での指導助言を行い、先進的な取組の成果を全ての学校で共有するとともに、各学校の要望に

応じて校内研修への指導主事の派遣を行っている。

**学習指導要領**：文部科学省が定めている教育課程の基準。およそ10年に1度改訂されている。今回の改訂では、生きる力の育成を目指し、資質・能力を3つの柱「知識・技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」で整理しており、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から全面实施される。

## 公明党

水産加工品の学校給食での活用策

**問** コロナ禍により流通が滞っている水産加工品の学校給食での活用策を伺いたい。

**答** 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外食産業で水産物や水産加工品の需要が減少し、生産者や加工業者等の経営を圧迫している状況にある中、本市では、国の事業を活用し、県と連携しながら、在庫の滞留が生じている県内水産物のブリ、マダイ、トラフグ約14万6千食を学校給食の食材として提供することとしている。また、令和3年1月には、通常の学校給食食材の